

平松 礼二 館

日本の美－富士四季彩 2020.7.2～2020.9.28

平松画伯は20代の頃、一時期山登りに夢中になった時期がありました。日本の二千メートル級の著名な山をほとんど踏破していながら、富士山は一度も登頂したことがないそうです。日本の美の象徴でもある富士は、他の山と一線を画す特別な存在、という意識があったのかもしれない。

富士山はその存在感や優美な姿から、これまで多くの画家によって描かれてきました。それ故に、作家のオリジナリティや技量が問われる難しいテーマであるといわれます。平松画伯も幾度となく対象に向き合い、時にはダイナミックに時には清閑な富士を描いてきました。近年では、フランス印象派とジャポニズムの研究から日本美の真髄を様式美の中に見出し、独自の装飾的な表現で「かざり」をまとった華麗な富士を制作しています。

今回の展覧会では、日本の四季の風物とともに描かれた数々の富士をご覧ください。

No.	作品名	制作年	技法	寸法(縦×横)cm	
1	三富士 湖映	2001	麻紙／岩絵具	803×1167	
2	八富士 秋色	2001	麻紙／岩絵具	1167×803	
3	一富士 山中月光	2001	麻紙／岩絵具	803×1167	
4	日本の光	2003	麻紙／岩絵具	970×1455	
5	ジャポン・富士図	2003	麻紙／岩絵具	652×909	
6	東海富士図	六曲一隻屏風	2006	麻紙／岩絵具	1800×3600 所蔵
7	路・湘南から	2006頃	麻紙／岩絵具	410×530	
8	桜潮音	2007	麻紙／岩絵具	727×1167	
9	大観山金秋	2007	麻紙／岩絵具	652×909	所蔵
10	夢富士	2008	麻紙／岩絵具	1167×803	所蔵
11	花富士海図	2008	麻紙／岩絵具	727×1000	所蔵
12	白峰	2009	麻紙／岩絵具	455×606	所蔵
13	夏不二図	2009	麻紙／岩絵具	1167×803	
14	富岳彩々	2009	麻紙／岩絵具	1167×803	
15	名峰名花	2010	麻紙／岩絵具	530×727	所蔵
16	菊と富士	2012	麻紙／岩絵具	318×410	所蔵

* 文藝春秋表紙原画

17	早春の暦	2002年2月号	2006	麻紙／岩絵具	580×1070
----	------	----------	------	--------	----------

* 特別展示

18	モネの池・若葉		2002	麻紙／岩絵具	652×909
----	---------	--	------	--------	---------